

平成 29 年度九州考古学会総会プログラム

日時：2017 年 11 月 25 日（土）・26 日（日） 場所：西南学院大学 コミュニティセンター

第 1 日目 11 月 25 日（土） 受付開始 12:30～

13:00～13:10 開会式

13:10～13:40 ①森下靖士（古賀市教育委員会）

「国史跡船原古墳発掘調査の概要と出土品整理の最新成果について」

13:40～14:10 ②諫早直人（奈良文化財研究所）「装飾馬具製作地論の現状と課題」

14:10～14:20 休憩

14:20～14:50 ③神 啓崇（福岡市経済観光文化）

「馬具の構造変化とその意義－西堂古賀崎古墳馬具の再検討－」

14:50～15:20 ④西 幸子（福岡大学大学院）「大邱・慶山地域の馬具生産の検討」

15:20～16:20 ⑤李炫姪（韓国 蔚山岩刻畫博物館） 通訳：西幸子（福岡大学大学院）
「韓国馬具研究の現状と争点、そして課題」

16:20～16:30 休憩

16:30～17:30 総会

18:00～ 懇親会〔於：西南学院大学 西南クロスプラザ〕

第 2 日目 11 月 26 日（日） 受付開始 9:10～

09:30～10:10 ⑥梶原慎司（高松市教育委員会）

「弥生時代北部九州における大型甕棺成立期の地域性とその変化」

10:10～10:50 ⑦柳田康雄（國學院大學）・石橋新次（筑前町教育委員会）

「福岡県筑前町薬師ノ上遺跡の石硯」

10:50～11:30 ⑧柳田康雄（國學院大學）・平田定幸（元筑前町史編さん事務局長）

「福岡県筑前町東小田七板遺跡の鉄戈」

11:30～12:00 ポスターセッション解説時間

[1] 福永将大¹・足立達朗^{2,3}・田尻義了^{2,3}・浦井直幸⁴・小山内康人^{2,3}

（¹九州大学大学院地球社会統合科学府、²九州大学アジア埋蔵文化財研究センター、³九州大学大学院比較社会文化研究院、⁴中津市教育委員会）

「法垣遺跡出土縄文土器の高精度胎土分析」

[2] 足立達朗^{1,2}・田尻義了^{1,2}・中野伸彦^{1,2}・小山内康人^{1,2}

（¹九州大学アジア埋蔵文化財研究センター、²九州大学大学院比較社会文化研究院）

「今津遺跡および今宿遺跡群出土玄武岩製石斧の地球科学的高精度分析」

[3] 田尻義了^{1,2}・足立達朗¹・小山内康人¹・岩橋由季³・甲斐孝司³・森下靖士³

（¹九州大学アジア埋蔵文化財研究センター、²九州大学大学院比較社会文化研究院、³古賀市教育委員会）

「船原古墳出土須恵器の胎土分析について」

[4] 倉元慎平¹・中島 圭¹・遠藤啓介²・岡寺良³

（¹朝倉市教育委員会文化課、²甘木歴史資料館、³九州歴史資料館・九州山岳霊場遺跡研究会）

「朝倉市堂ヶ尾廃寺遺跡の「再」発見と調査概要」

[5] 栗畑光博¹・近沢恒典¹・田尻義了^{2,3}・足立達朗^{2,3}

（¹都城市教育委員会、²九州大学アジア埋蔵文化財研究センター、³九州大学大学院比較社会文化研究院）

「所属時期不明遺構のテフラ分析による年代推定」

12:00～13:00 昼休み

13:00～13:40 ⑨古澤義久（長崎県教育庁）「磁器に描かれた清朝銭の表現における景德鎮と肥前の比較」

13:40～14:20 ⑩川畑敏則・古門雅高（長崎県教育庁新幹線文化財調査事務所）
「長崎県大村市竹松遺跡の調査報告（古代～中世）」

14:20～14:30 休憩

14:30～15:10 ⑪東 貴之（九州考古学会会員）「神浦川流域における石鍋製作遺跡群」

15:10～15:50 ⑫上野淳也（別府大学）
「ウィーン軍事博物館所蔵佛朗機砲の文化財科学的検討と歴史考古学的検討～黒田長政の
佛朗機砲について～」

15:50～16:30 ⑬松井和幸（北九州市立いのちのたび博物館）「阿蘇リモナイトから弥生時代製鉄を考える」

16:30～ 閉会式